

昭和薬科大学大学院薬学研究科修士課程募集要項 一般入試
平成17年9月実施済

- ◆ 募集人員 薬学専攻 博士前期(修士)課程 30名
医療薬学専攻 修士課程 10名

◆ 募集要項
I 共通事項

1 出願資格

次の各号の一に該当する者

- (1) 大学の薬学部を卒業した者、または平成18年3月卒業見込みの者
- (2) 理科系大学を卒業した者、または平成18年3月卒業見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第70条第1項各号の一に該当する者で前2号に規定するものと同等以上の学力があると認められた者
- (4) その他、本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2 出願期間

平成17年8月22日(月)～8月25日(木) (受付時間：午前9時～午後4時)

3 受験手続

志願者は次の書類に入学検定料35,000円(郵送の場合は郵便為替)を添えて出願期間内に下記に提出すること。

但し、入学検定料は郵送による受付の場合を除き、事務室内に設置してある証明書自動発行機にて各自で入金し、申請入金証を添付すること。

〒194-8543 東京都町田市東玉川学園3丁目3165番地 昭和薬科大学教務課 大学院係

出願書類	注 意 事 項
入 学 願 書	本学所定の用紙
調 査 書	本学所定の用紙
健 康 診 断 書	本学所定の用紙、最近3ヶ月以内に受診したもの 本学の定期健康診断を受診した者は、その診断結果を提出することで代用できる。
受験票返送用封筒	郵便にて出願を行う者は郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手350円(速達)を貼付した封筒を同封すること。
そ の 他	ア. 外国人の志願者は在留資格を証明する書類(入国査証の写、外国人登録済証明書) イ. 受験票に貼付する写真(縦5cm×横4cm、裏面に氏名記入)は上半身、脱帽正面向きで、出願前3ヶ月以内に撮影したもの

4 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験成績、面接試験成績、調査書及び健康診断書の記載事項を総合して行う。

(1) 筆記試験

- ◇ 外 国 語：英 語
- ◇ 薬学専門科目：専攻により異なるので後記する。

(2) 面接試験

5 試験期日・時間及び試験場所

(1) 試験日及び時間

月日(曜日)	試 験 科 目	時 間	備 考
9月1日(木)	外 国 語	午前10時～12時	
	薬学専門科目	午後1時～3時	
9月2日(金)	面 接	午前10時～	

(2) 試験場所 昭和薬科大学(東京都町田市東玉川学園3丁目3165番地)

6 合格発表

- (1) 日 時 平成17年9月3日(土) 午後1時予定
 (2) 場 所 本学所定の掲示板

7 注意事項

- (1) 薬学専攻と医療薬学専攻は同日に試験を行うので重複受験はできない。
 (2) 出願手続き後、志願専攻先の変更など記載事項の変更、あるいは検定料の返還などには応じない。
 (3) 出願書類に虚偽の記載があった場合には、入学後であっても入学を取り消すことがある。
 (4) 出願書類を郵送する場合は『書留』とし、『大学院入学願書在中』と朱書すること。

8 入学手続き

入学試験に合格した者は、指定期日内に所定の納付金と提出書類を揃え、入学手続きを完了すること。指定期日内に手続きを完了しない者は、合格を取り消す。

- (1) 指定期日 平成18年2月24日(金)～3月3日(金)
 (2) 提出書類 誓約書(本学所定のもの)
 写真1枚(縦4cm×横3cm、裏面に氏名記入)(学生証に使用する)
 住民票記載事項証明書(外国人の場合は外国人登録済証明書)
 卒業証明書(卒業見込で受験した者は別途指定する期日まで)

9 入学金及び学生納付金明細表

(単位：円)

学 年	納 入 期	第1年次		第2年次	
		前期 (入学期)	後期 (10月)	前期 (4月)	後期 (10月)
入 学 金		300,000			

学 年	納 入 期	第1年次		第2年次	
		前期 (入学期)	後期 (10月)	前期 (4月)	後期 (10月)
授 業 料		290,000	290,000	290,000	290,000
施 設 設 備 費		150,000	150,000	150,000	150,000
学 生 納 付 金 計		440,000	440,000	440,000	440,000
学 生 教 育 研 究 災 害 傷 害 保 険 料		2,100			
学 生 教 育 研 究 付 帯 賠 償 保 険 料		800			
厚 生 福 祉 会 費		30,000		30,000	
委 託 徴 収 費 計		32,900	0	30,000	0
合 計		472,900	440,000	470,000	440,000

- 本学卒業生は入学金の半額を免除する。
- 医療薬学専攻修士課程は上記の他に実務研修における医療保険10,000円と薬剤師保険2,000円が加算される。

10 奨学制度

本学の奨学基金ならびに日本学生支援機構(旧 日本育英会)に対し、推薦を行っている。

II 薬学専攻の応募について

1 大学院生受入研究室の研究内容

- (1) 志願者は表1「大学院生受入研究室の研究内容」を参照して志望する研究室を記載しなければならない。
- (2) 各研究室の1学年の定員は最大4名とする。
- (3) 志望研究室は第3志望まで記載できる。

2 薬学専門科目の筆記試験

筆記試験科目

有機化学
医薬品化学
天然物化学（生合成を含む）
分析化学（物理化学、放射化学を含む）
薬剤学
生化学
衛生薬学
薬理学

※上記の筆記試験科目から4科目選択する。

III 医療薬学専攻の応募について

病院薬剤実務研修を履修するにあたっては薬剤師の資格が必要である。

従って、平成18年4月の時点で薬剤師国家試験に合格していない場合は入学を取り消す。

1 大学院生受入研究室の研究内容

- (1) 医療薬学専攻では入学後の1年間は医療薬学教育研究センターの所属となる。

表2に掲げた大学院生受入研究室への配属は2年次からとなる。従って、入学願書の「志望研究室」欄には記入しないこと。

- (2) 2年次に所属する各研究室の定員は最大4名とする。但し、臨床化学分析教育研究室、薬品作用学教育研究室、医薬情報評価教育研究室、漢方治療学教育研究室では各教員に対して定員最大2名とする。
- (3) 「大学院生受入研究室の研究内容」は表2に示してある。

2 薬学専門科目の筆記試験

筆記試験科目

・医療薬学専攻

臨床薬理学
病態解析学
病原微生物学・化学療法学
薬物動態学
薬物治療学

薬剤師国家試験の
医療薬学分野から出題

・薬学専攻

有機化学
医薬品化学
天然物化学（生合成を含む）
分析化学（物理化学、放射化学を含む）
薬剤学
生化学
衛生薬学
薬理学

※医療薬学専攻の筆記試験科目から3科目、薬学専攻の筆記試験科目から1科目選択する。

3 カリキュラム概要

(1) 入学後の基本スケジュール

1年次

4月	9月	12月	3月末
医療薬学特論講義	病院薬剤部実務研修	病棟実務研修	
	協力病院における実務研修		

2年次

臨床薬学課題研究（本学または病院）	3月末
	修士論文 作成

(2) 医療薬学特論講義

次の特論講義をオムニバス方式で行う。

臨床医学、病態解析学、薬物治療学、病原微生物学・化学療法学、薬物動態学、臨床薬理学、臨床薬学

(3) 実務研修

下記提携病院において調剤・製剤・薬品管理・医薬品情報管理等の病院薬剤部実務研修と病棟医薬品管理・服薬指導・回診参加・薬歴簿管理作製・症例検討会への参加等の病棟実務研修を行う。

(4) 臨床薬学課題研究

表2「大学院生受入研究室の研究内容」に記載されている研究室又は研修病院において修士論文作成のための研究を行う。

4 提携病院（50音順）

N T T 東日本(株) 関東病院

聖路加国際病院

北里大学病院

東海大学医学部付属病院

北里大学東病院

東京通信病院

国家公務員共済組合連合会虎の門病院

日本医科大学付属多摩永山病院

済生会横浜市南部病院

日本赤十字社医療センター

信州大学医学部附属病院

横浜市立大学附属病院

聖マリアンナ医科大学病院

5 その他

本課程入学者には実務研修における医療保険10,000円と薬剤師保険2,000円が加算される。

表 1

【薬学専攻 修士課程】 大学院生受入研究室の研究内容

平成 18 年度

研究室名	担当者	研究内容
薬化学	教授 田村 修 講師 岡本 巖	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高立体選択的反応の開発と生理活性物質合成への応用 2. 含窒素複素環を有する新規機能性芳香族アミド化合物の創製と制御 3. 新規酸化試薬の開発とその合成への応用
有機反応化学	教授 榛澤 雄二 講師 齋藤 俊昭	<ol style="list-style-type: none"> 1. 遷移金属錯体を用いる有機反応の開発および生理活性化合物合成への応用 2. 複素環構築のための新反応の開発 3. 有機反応の計算化学 4. パーキンソン病発症抑制化合物の検索
薬品合成化学	教授 磯部 公明 (平成 19 年 3 月退任予定) 講師 佐藤 美鶴 助教授 毛利 邦彦 (医療薬学専攻 兼任)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不飽和ラクトン環を有する天然有機化合物の合成研究 2. 天然物由来の生理活性物質の検索および合成 3. オゾン分解を利用した複素環化合物の新規合成法の開発
天然物化学	教授 増田 和夫	<ol style="list-style-type: none"> 1. シダ植物イソプレノイドの化学的研究とケモタキソノミー 2. ヒマラヤ地域薬用植物の成分と生物活性 3. トリテルペノイドやステロイド合成酵素のクローニング
薬品物理化学	教授 遠藤 和豊 講師 本田 智香子	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品ミセルおよび生体高分子の拡散現象の解明 2. 生体内のフリーラジカル消去能の評価 3. 機能性両親媒性物質の分子集合体の形成とDDSへの応用 4. 生体における微量元素の分布と存在状態
薬品分析化学	教授 神崎 愷 講師 小林 茂樹	<ol style="list-style-type: none"> 1. カーボン繊維電極を用いた電解殺菌法に関する研究 2. 無機イオン交換体中の水分子に対する固体 NMR による研究 3. パルス NMR による食品中の水分子の挙動と食味に関する研究 4. 漢方薬からの抽出成分に及ぼす各種天然水の影響 5. キラル二重鎖ペプチド-ランタノイド元素蛍光性キレーターの開発とその細胞機能制御に関する研究
薬剤学	教授 渡邊 善照 助教授 藤井 まき子 講師 近藤 昌夫	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新型錠剤等の製剤設計学および薬物の固体分散体に関する物理薬剤学的研究 2. ポリペプチド類医薬品の Drug Delivery System (DDS) の構築と薬物動態の評価 3. 皮膚における薬物の透過と代謝に関する研究 4. 培養細胞を用いた薬物吸収機構の解明と吸収促進システムの研究 5. 遺伝子治療に応用する遺伝子導入ベクターの検討

薬物動態学	教授 山崎 浩史	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物酸化酵素活性の表現多型と遺伝多型に基づく個人差の研究 2. 変異型薬物代謝酵素の構造と機能に関する <i>in silico</i>, <i>in vitro</i> および <i>in vivo</i> 研究 3. 薬物療法時の薬毒物の代謝的活性化・不活性化ならびに薬物相互作用に関する研究
生化学	教授 土屋 香登子 講師 坂田 宣夫	<ol style="list-style-type: none"> 1. 放線菌における抗生物質生合成に関する遺伝子の研究 2. 神経や筋肉の分化に関わる転写因子の研究 3. 制癌物質の作用機構の解明
病態科学	教授 田代 眞一 助教授 小野 寺敏	<ol style="list-style-type: none"> 1. 漢方薬等天然薬物の作用と成分に関する臨床的研究 2. 糖尿病等生活習慣病の病態と診断・治療法の開発 3. 骨・軟骨の細胞外マトリックス成分の機能ならびに代謝に関する病態科学的研究 4. 造血系細胞の発生メカニズムの解明 5. アポトーシスを引き起こす植物由来の成分研究およびそのメカニズムに関する研究
分子生体制御学	教授 石井 秀美 講師 樋口 敏幸	<ol style="list-style-type: none"> 1. 血栓性疾患の病態解析と予防治療薬の開発 2. 動脈硬化の病態解析と予防治療薬の開発 3. 炎症および創傷治癒反応における血液凝固・線溶系の役割 4. 癌転移機構における血液凝固・線溶系の役割
衛生化学	教授 北條 博史 助教授 知久馬 敏幸	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬毒物の免疫毒性学的研究 2. がんの制御に関する研究 3. 発熱発生のメカニズムに関する研究 4. 神経ペプチドの遺伝子発現と酵素調節
微生物学	教授 塚本 喜久雄 講師 井上 能博	<ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物病原因子の分子構造と機能に関する研究 2. GPI アンカー蛋白質の生合成と機能に関する研究 3. 感染症を制御する医薬品の開発 4. 病原細菌の薬剤耐性機構とその制御に関する研究
薬理学	教授 就任の予定 講師 神戸 敏江	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高血圧症成因に関する分子生物学的研究
薬物治療学	講師 宇都 宮 郁	<ol style="list-style-type: none"> 1. Guillain-Barré 症候群の免疫生化学的研究 2. 運動ニューロン病の成因および治療に関する研究 3. 神経系の K^+ チャンネルに関する研究
生物系薬学教育	助教授 船本 常男 講師 中里 朱根	<ol style="list-style-type: none"> 1. 有用遺伝資源植物の細胞遺伝的研究 2. 植物の成長制御分子機構についての研究

表 2

【医療薬学専攻 修士課程】 大学院生受入研究室の研究内容

平成 18 年度
医療薬学教育研究センター

教育研究室名	担当者	研究内容
臨床化学分析	助教授 福 森 隆 次 講 師 千 葉 良 子	1. 生体内活性物質の分析 2. 生体中薬物および代謝物の高感度分析 3. 健康食品中の有害物質の定量
薬品作用学 生物系	助教授 田 口 恭 治 助教授 濱 島 肇 助教授 萩 原 幸 彦	1. 医薬品の作用と病態との関連性の研究
薬品作用学 化学系	助教授 堀 口 よし江 助教授 竹 谷 哲 也 助教授 毛 利 邦 彦	1. 脳内アミン関連複素環化合物の合成と活性評価 2. チトクロム P450 の機能モデルの開発とその合成（代謝物含む）への応用 3. クルクミノイドの合成と生物活性検索
医薬情報評価	教 授 戸 田 潤	1. EBM の実践：薬物治療法の評価
漢方治療学	助教授 北 島 潤 一 講 師 高 野 昭 人	1. 芳香生薬の精油および水溶性成分 2. 漢方処方の解析 3. 漢方、生薬、薬用植物に関する副作用情報の収集と解析 4. 園芸セラピーの実態とその効果・可能性に関する調査・研究 5. 生薬の基原植物に関する調査・研究

専門系研究室

研究室名	担当者	研究内容
病態科学	教 授 田 代 眞 一 助教授 小 野 寺 敏	1. 漢方薬等天然薬物の作用と成分に関する臨床的研究 2. 糖尿病等生活習慣病の病態と診断・治療法の開発 3. 思春期や周産期、更年期における不定愁訴に関する臨床的、内分泌学的研究 4. 骨・軟骨の細胞外マトリックス成分の機能ならびに代謝に関する病態科学的研究 5. 造血系細胞の発生メカニズムの解明 6. アポトーシスを引き起こす植物由来の成分研究およびそのメカニズムに関する研究
薬理学	教 授 就任の予定 講 師 神 戸 敏 江	1. 高血圧症成因に関する分子生物学的研究
衛生化学	教 授 北 條 博 史 助教授 知久馬 敏 幸	1. がんの制御に関する研究 2. 発熱発生のメカニズムに関する研究 3. 神経ペプチドの遺伝子発現と酵素調節 4. 麻薬類の分析法に関する研究 5. 産後薬の母乳への移行に関する研究
分子生体制御 学	教 授 石 井 秀 美 講 師 樋 口 敏 幸	1. 血栓性疾患の病態解析と予防治療薬の開発 2. 動脈硬化の病態解析と予防治療薬の開発 3. 炎症および創傷治癒反応における血液凝固・線溶系の役割 4. 癌転移機構における血液凝固・線溶系の役割

微生物学	教授 塚本 喜久雄 講師 井上 能博	1. 微生物病原因子の分子構造と機能に関する研究 2. GPI アンカー蛋白質の生合成と機能に関する研究 3. 感染症を制御する医薬品の開発 4. 病原細菌に作用する抗菌性物質に関する研究
薬品合成化学	教授 磯部 公明 (平成19年3月退任予定) 講師 佐藤 美鶴	1. 含窒素複素環化合物の合成と生物活性検索
薬物動態学	教授 山崎 浩史	1. 薬物血中モニタリングに基づく個別化医療を指向した基盤研究 2. 患者選別のバイオマーカーとしての薬物酸化酵素に関する研究 3. 日本人魚臭症候群の生化学的解析と患者の生活の質の向上に関する研究
薬剤学	教授 渡邊 善照 助教授 藤井 まき子 講師 近藤 昌夫	1. 新規院内特殊製剤（口腔内適用製剤、鼻腔内適用製剤、中空坐剤等）の開発ならびに使用評価 2. 胎盤関門における薬物透過及び代謝の機構解明 3. 臨床時間薬理学と時間製剤学的研究 4. 薬物相互作用におけるP-糖蛋白とCYPの機能解析
薬化学	教授 田村 修 講師 岡本 巖	1. 高度に生理活性を有する含窒素天然有機化合物の合成研究 2. 含窒素複素環を有するアミド化合物の立体構造の解明
薬品物理化学	教授 遠藤 和豊 講師 本田 智香子	1. 生体内酸化還元反応の制御と生体微量元素の相互作用 2. 薬物のミセル中への可溶化 3. 胆石症成立機構の解明
薬品分析化学	教授 神崎 愷 講師 小林 茂樹	1. 粘土鉱物と薬物のインターカレーション化合物の合成とそのDDSへの応用 2. 軟膏剤基質希釈効果に関する研究 3. 薬物投与に起因する味覚障害に関する研究 4. 後発医薬品の安全性および情報の品質に関する調査 5. DNAキラル分子膜の開発とその環境分析化学や膜透過機構に関する研究
薬物治療学	教授 星 恵子 講師 宇都宮 郁	1. Guillain-Barré 症候群発症に関する研究 (A) 糖鎖構造解析、免疫組織・細胞化学的解析 (B) 運動神経細胞のイオンチャンネルの電気生理学的解析 2. 運動ニューロン病の治療に関する研究 3. 線維筋痛症やリウマチなど、疼痛性疾患のアミノ酸解析からの病態解明および診断への応用 4. 炎症からみた動脈硬化に関する臨床的研究 5. 漢方薬によるリウマチの治療に関する研究
有機反応化学	教授 榛澤 雄二 講師 齋藤 俊昭	1. パーキンソン病治療薬の開発に関する研究
生化学	教授 土屋 香誉子 講師 坂田 宣夫	1. 抗菌物質の作用機構の解明 2. 神経や筋肉の分化に関わる転写因子の研究
天然物化学	教授 増田 和夫	1. がん予防効果を有する天然薬物の探索